

学術研究実績報告書

申請書との変更点およびその理由(内容、日程、実施場所、参加者等で変更があれば記入)

なし

研究実績概要

研究代表者(申請者氏名・所属機関・職名):

増田佳正・慶應義塾大学大学院・特任教授(米 Carnegie Mellon 大学院教員、東京理科大学国際系教授)

共同研究者(氏名・所属機関・職名): なし

研究課題名: デジタル IT 時代に求められるグローバルリーダーシップに関する調査・実践研究

研究期間: 2020年 8月 18日 ~ 2022年 8月 17日

概要: (1,000字以内で記述)

以下の(1)~(4)について調査研究を実施した。

(1) デジタル・トランスフォーメーション遂行プロセスの比較評価・提案および検証

デジタル・トランスフォーメーション遂行プロセスを定義・提案し検証した英語論文を国際ジャーナル誌(International Journal of Enterprise Information Systems, IGI Global)にて採択・出版。

(2) デジタル・トランスフォーメーションの遂行でのグローバルリーダーシップについての研究

米国 AMCIS 国際会議(2021年)の Technology Research and Education(TRE0)の Track にて研究コンセプトについて発表。その後、2022年8月に開催の米国 AMCIS 国際カンファレンスでは、更に当件の Work Shop Proposal が採択され、当 WS を成功裡に実施。(米欧の Professor・Researcher30名参画)

(3) デジタル・トランスフォーメーション事例研究(グローバル企業)

グローバル製薬企業での新薬開発作成の Digital Platform を基にしたデジタル・トランスフォーメーションの論文を国際ジャーナル誌で採択・発表(欧州 MDPI Journal Information)。(2021年2月)

欧州の KES-Inmed 国際会議でバイエル社 AI 関連 Digital Transformation の Case Study 論文を発表。

(4) グローバルリーダーシップ発揮に寄与するデジタル・トランスフォーメーションの在り方の研究

欧州開催の KES-SDF HCIS 国際会議にて、東京都の Smart Energy Digital Strategy の Vision Paper が採択され発表。同じ KES-SDF 国際会議にて、Keynote Speech として「Digital Strategy and Enterprise Architecture toward Society 5.0」の題目にて基調講演。(2022年6月)

この結果、以下の成果[1]~[4]を発表した。

[1] Yoshimasa Masuda, "Adaptive Enterprise Architecture Process for Global Companies in a Digital IT Era." International Journal of Enterprise Information Systems. IGI Global. 17(2), pp. 21-43. (2021).

[2] Yoshimasa Masuda, "Digital Strategy and Architecture Toward IS Leadership in Digital Transformation," WS, AMCIS (2022)

[3] Yoshimasa Masuda, "Adaptive enterprise architecture for the digital healthcare industry: A digital platform for drug development," Journal Information, MDPI (2021).

[4] Yoshimasa Masuda, "Vision Paper for Sharing Economy and Digital Platforms Toward Society 5.0," In International KES Conference on Human Centered Intelligent Systems (2022).

* 研究実績概要は「野村マネジメント・スクール研究助成実績報告書」および財団ホームページに掲載します